目　　次

一、全省主要産業
デジタル経済産業……3
（一）電子情報産業 ……3
（二）仮想現実（VR）産業……4
（三）半導体照明（LED）産業 ……5
（四）電子商取引産業 ……6
（五）IoT（モノのインターネット）産業 ……7
（六）ソフトウェアと情報技術サービス業 ……7
自動車及び部品産業……8
スマートデバイス（ロボット）産業 ……9
航空産業 ……10
バイオ（漢方）医薬産業……11
新素材産業 ……12
新エネルギー産業 ……14
紡織服装産業 ……15
自然食品産業 ……16
現代家具産業 ……17
商業貿易物流業 ……18
文化観光産業 ……19
大健康産業 ……20
二、国家級開発区の 主要産業紹介
南昌経済技術開発区……21
南昌小藍経済技術開発区……22
南昌ハイテク産業開発区 ……23
九江経済技術開発区……24
九江共青城ハイテク産業開発区……25

©2022 Jiangxi Chamber of Commerce in Japan

景徳鎮ハイテク産業開発区 ……26
萍郷経済技術開発区 ……27
新余ハイテク産業開発区 ……28
鷹潭ハイテク産業開発区 ……29
贛州経済技術開発区 ……30
龍南経済技術開発区 ……31
瑞金経済技術開発区 ……32
贛州ハイテク産業開発区 ……33
宜春経済技術開発区 ……34
宜春豊城ハイテク産業開発区 ……35
上饒経済技術開発区 ……36
井岡山経済技術開発区 ……37
吉安ハイテク産業開発区 ……38
撫州ハイテク産業開発区 ……39

©2022 Jiangxi Chamber of Commerce in Japan

一、全省主要産業

デジタル経済産業

(一)電子情報産業

産業発展の現状

電子情報は、江西省が重点的に構築する二つの万億産業中の一つである。全省は、南昌ハイテク産業開発区の光電及び通信、南昌経済技術開発区の光電、吉安井岡山経済技術開発区の通信端末設備などの 18 大産業クラスターを育成・形成し、吉安と南昌ハイテク産業開発区の二つの国家新型工業化産業モデル基地を持っている。全省の電子情報産業重点企業は、全体的に平穏な成長を維持し、規模以上の企業数は 1,399 社に達した。2021 年、全省の電子情報産業は、営業収入 6,688 億元を達成し、前年同期比 25.4%増加した。

©2022 Jiangxi Chamber of Commerce in Japan

（二）仮想現実（VR）産業

産業発展の現状

中国共産党江西省委員会・江西省政府は、仮想現実産業の発展を重視して、仮想現実を江西省が「車線変更追い越し」と「乗り換え追い越し」を達成する重要なエンジンとし、「全国リード、世界一流」の方向へ確実に前進する。全省 VR 及び関連産業の営業収入は、2018 年の 42 億元から 2020 年の 298 億元に急増し、2021 年に 600 億元を超え、3 年連続で倍増した。

©2022 Jiangxi Chamber of Commerce in Japan

（三）半導体照明（LED）産業

産業発展の現状

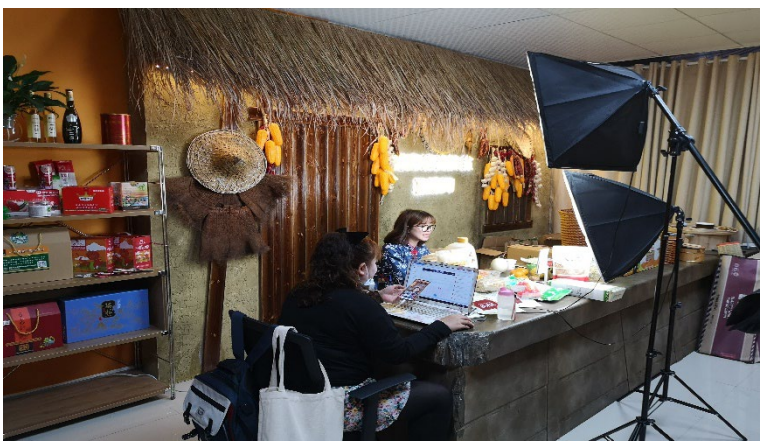
江西省は、LED 産業の発展優位が顕著で、オリジナルのシリコン基板 LED 技術が国家技術発明一等賞を受賞した。ここ数年来、江西省は半導体照明科学研究と産業化方面で急速に発展し、産業チェーンは絶えず完備し、延長している。2021 年に営業収入が 800 億元を超え、比較的完全な産業チェーンを形成し、すでに規模化生産を達成して、江西省は国内にMOCVD 製造、MO 源、エピタキシャルウェハー、照明チップ製造、照明チップパッケージ、照明応用製品などの全産業チェーンを備えた省の一つになった。

©2022 Jiangxi Chamber of Commerce in Japan

（四）電子商取引産業

産業発展の現状

ここ数年来、中国共産党江西省委員会・江西省政府は、電子商取引の発展を重視し、相次いで一連の電子商取引の発展を加速する扶助政策と重点措置を打ち出し、政策誘導、モデル引率、主体育成、プラットフォーム連動、付帯完備を通じて、全省の電子商取引は持続的な高速成長を達成した。2021 年、全省のインターネット小売販売額は 1,926.2 億元で、前年同期比 24.3%増加した。



©2022 Jiangxi Chamber of Commerce in Japan

（五）IoT（モノのインターネット）産業

産業発展の現状

江西省 IoT（モノのインターネット）と 5G 産業は、感知製品製造、ネットワーク伝送製品製造、プラットフォーム・サポートと IoT・スマート端末・アプリケーション生産の完全な産業チェーンを形成した。IoT 産業は、急速な発展を達成して、全省の IoT 及び関連産業の主要営業収入は、2018 年の 500 億元から 2020 年の 1,100 億元に 2 年の倍増を達成し、2021 年に産業規模は 1614 億元に達した。

（六）ソフトウェアと情報技術サービス業

産業発展の現状

わが省のソフトウェア産業は、ここ数年間の収入が着実に増加した。南昌市は金蘆ソフトウェア園、浙江大学科学技術園、中興ソフトウェア園などを核心として国家たいまつ計画ソフトウェア産業基地を拡大し、鷹潭、贛州などの区設置市のスマート・IoT（モノのインターネット）産業が活発に発展した。贛州、上饒、撫州、宜春などのクラウドコンピューティング、ビッグデータ産業のカバー発展を形成した。2021 年、全省のソフトウェアサービス業の営業収入は 324.4 億元で、前年同期比 9.5%増加した。ソフトウェア産業は 34.3 億元の利益を達成し、前年同期比 30%増加した。

©2022 Jiangxi Chamber of Commerce in Japan

自動車及び部品産業

産業発展の現状

自動車及び部品産業は、江西国民経済の基幹産業で、全体産業は完成車からシャーシ、エンジン、変速機などの主要部品まで比較的完全な産業チェーンを備えており、小藍経済技術開発区、南昌経済技術開発区、撫州ハイテク産業開発区などの自動車部品産業基地を付帯にした産業発展構造を形成している。2021 年、全省の完成車生産販売台数はそれぞれ 43.6 万台と 43.7 万台で、営業収入は 1,337.9 億元だった。

©2022 Jiangxi Chamber of Commerce in Japan

スマートデバイス（ロボット）産業

産業発展の現状

現在、江西省スマートデバイス（ロボット）産業は、すでに初歩的な規模を備えており、現在 228 社の企業があり、2021 年の主要営業収入は 510 億元ぐらいに達し、産業は主に南昌、贛州、九江などに集中して、主導産業は工業とサービスロボット、スマート電力網、中高級数値制御工作機械、自動化生産ラインなどがある。

©2022 Jiangxi Chamber of Commerce in Japan

航空産業

産業発展の現状

江西は、新中国初の飛行機の誕生地である。最近 70 年間の発展を経て、江西省の航空製造は比較的に強い製品の全体設計、試験検証、先進製造と総組立能力を備え、中国の訓練機、ドローン、汎用航空機とヘリコプターの研究開発の重要な基地で、産業規模は全国上位に位置している。2021 年、江西省航空産業の主要営業収入は 1,413.26 億元で、前年同期比 17.3%増加した。

©2022 Jiangxi Chamber of Commerce in Japan

バイオ（漢方）医薬産業

産業発展の現状

江西省漢方医薬産業の歴史は悠久で、樟樹千年南国薬都を持ち、進賢医療機器産業クラスター、樟樹医薬産業クラスター、袁州医薬産業クラスター、南昌小藍経済技術開発区医薬産業クラスター、峡江工業園区バイオ医薬産業クラスター、永豊工業園区バイオ医薬大健康産業クラスター、贛州章貢ハイテク産業開発区バイオ医薬産業クラスターなど七つの主要バイオ医薬産業クラスターを形成した。2021 年、全省の医薬産業は主要営業収入 1,481.23 億元を達成し、前年同期比 16.58%増加した。

©2022 Jiangxi Chamber of Commerce in Japan

新素材産業

産業発展の現状

（一）非鉄金属の新素材分野。江西省は「世界の銅の都」と「世界のタングステンの都」と呼ばれ、江西省の南部は「レアアース王国」というすばらしい名誉がある。江西省の非鉄金属産業は省内の豊富な鉱物資源によって急速に発展し、規模は絶えず拡大し、水準は絶えず向上し、比較的完全な産業チェーンと産業体系を形成して、全国の重要な銅、タングステン、レアアース産業基地である。

2021 年、全省の有色産業は営業収入 7641.1 億元を達成し、前年同期比 43.3%増加した。銅・タングステン・レアアースの営業収入はそれぞれ 4,607.7 億元、318.5 億元、540.7 億元だった。

（二）鉄鋼の新素材分野。鉄鋼産業は江西省の伝統優位産業で、すでに「246」の発展構造を形成し、すなわち新余鋼鉄、方大鋼鉄の 2 大鋼鉄グループ、九江沿江鋼鉄、新余鋼鉄及び鋼鉄加工、進賢鋼構造、萍郷粉末冶金の 4 つの産業基地、建築用鋼、船舶及び海洋工程用鋼、送変電電動機用鋼、自動車用鋼、家電用鋼、金属製品の 6 大製品シリーズを形成して、産業集中度が全国上位に位置している。

（三）石油化学の新素材分野。江西省の石油化学産業は、主に原油加工業と化学工業の 2 大子業種で構成され、原油加工業の主要企業は中石化股份九江分公司があり、化学工業は基本化学原料、化学肥料、農薬、クロールアルカリ、塗料、専用化学製品、ゴム製品、化学工業新素材などの子業種を含む。

©2022 Jiangxi Chamber of Commerce in Japan

（四）ガラス繊維及び複合材料産業。ここ数年来、江西省の建築材料工業は安定成長の態勢を維持し、その中にガラス繊維及び複合材料産業の成長が比較的速く、産業クラスターの集約発展効果が増強され、九江市濂渓区ガラス繊維及び複合材料産業基地、贛州市上猷県ガラス繊維及び新型複合材料産業基地を建設した。

©2022 Jiangxi Chamber of Commerce in Japan

新エネルギー産業

産業発展の現状

太陽光発電新エネルギーの分野において、江西省では 2005 年より太陽光発電産業がゼロベースから開始され、大規模産業へと爆発的な発展を遂げている。太陽光発電企業は主に上饒、新余などの重点区域に集中して、特に上饒経済技術開発区と新余ハイテク産業開発区の 2 大産業クラスターは、江西省の太陽光発電産業の重要な集積区になった。太陽光発電新エネルギー産業は、インゴット、シリコンウェハー切断、太陽電池、電池モジュールからの比較的完全な産業チェーンを形成し、生産能力規模とプロセス技術水準が全国上位に位置している。

©2022 Jiangxi Chamber of Commerce in Japan

紡織服装産業

産業発展の現状

紡織服装は、江西省の伝統的基幹産業で、対外貿易輸出、内需促進、就業促進、民生保障などの面で重要な役割を果たした。ここ数年来、わが省は東部地区の紡織服装産業が中西部に移転する良い機会をつかみ、比較的早い発展を達成し、すでに全国同業種の第二方陣に入った。2021 年、全省の紡織服装業界は比較的安定で速い成長を達成し、業界は全部で規模以上の企業が 1,562 社があり、営業収入は 1,939 億元を達成した。

©2022 Jiangxi Chamber of Commerce in Japan

自然食品産業

産業発展の現状

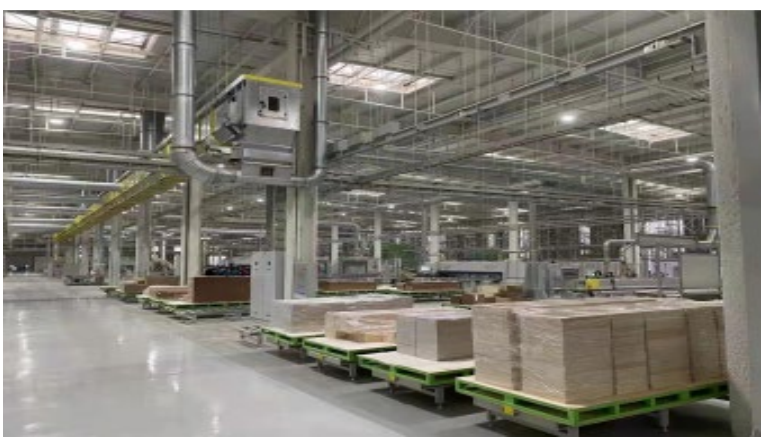
江西省は、農業大省、食糧大省、農産物大省で、農業は全国で天恵の優位と非常に重要な地位を持っており、建国以来、全国の二つの商品食糧を絶えず輸出してきた省の一つであるだけでなく、全国の重要な農産物生産供給基地でもある。江西省の自然食品産業は、すでに栽培業、畜産業、漁業とセレン富化機能農業などの産業配置を形成して、全国で天恵の優位を持っている。

©2022 Jiangxi Chamber of Commerce in Japan

現代家具産業

産業発展の現状

江西省は、全国の重要な家具生産基地で、2021 年、全省の家具製造業規模以上の企業は 693 社で、17 社増加した。営業収入は 597.7 億元を達成し、20.4%増加した。利益総額は 43.6 億元を達成し、28%増加した。輸出による外貨獲得は 23.4 億ドルを達成し、37.3%増加した。



©2022 Jiangxi Chamber of Commerce in Japan

商業貿易物流業

発展の現状

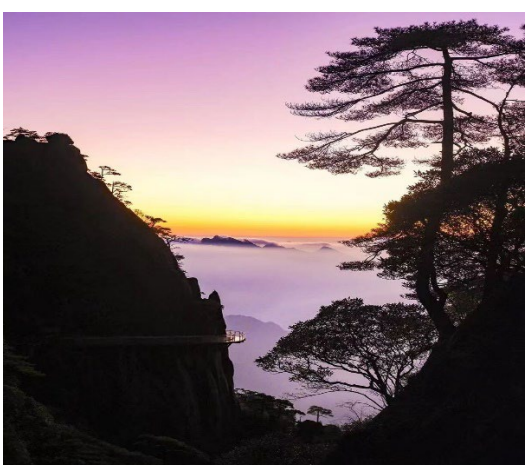
江西の商業貿易物流業は、比較的完全な産業体系を形成し、その中でコールドチェーン物流、道路貨物運送物流、医薬物流、宅配物流などの産業基礎は比較的良い。2021 年、全省の商業貿易物流は高品質の発展傾向を現れ、全省の商業貿易物流総額は 2.29 万億元で、商業貿易物流の総費用は 1,347.3 億元に達し、商業貿易物流の総収入は 1,005.7 億元に達した。

©2022 Jiangxi Chamber of Commerce in Japan

文化観光産業

発展の現状

江西省の文化観光業界は、全面的発展、融合的発展、高品質的発展、先導的発展の原則を堅持し、革新の強度を高め、発展歩調を速くし、「蘆山天下悠、三清天下秀、竜虎天下絶」の観光ブランドは、国内外で有名で、婺源、資渓、井岡山、石城、靖安、武寧、昌江などの県（市、区）は国家全域観光モデル区となり、「一部の携帯電話で江西を遊ぶ」のスマート観光プラットフォーム、全省の観光ビッグデータセンターとスマート観光産業を建設した。全省の文化産業と観光産業は急速な成長を達成し、観光産業は持続的に高速成長を達成し、市場規模は着実に拡大し、観光産業は全省の総合収入が先に万億ドルに迫る産業となり、観光産業は経済社会発展に対する牽引と支持作用がますます顕著になっている。



©2022 Jiangxi Chamber of Commerce in Japan

大健康産業

産業発展の現状

大健康産業は、健康の維持、修復と促進を中心に、直接或いは間接的に広範な人民大衆に健康生活ソリューションを提供する融合性産業で、主にバイオ医薬、医療サービス、フィットネス観光、健康食品、養生養老と健康管理などの分野をカバーし、広範囲にわたって、産業チェーンが長く、融合度が高い。

©2022 Jiangxi Chamber of Commerce in Japan

二、国家級開発区の主要産業紹介

南昌経済技術開発区

主導産業	産業案内
電子情報産業	OFILM、TXD、シャオミ Black Shark を代表とするモバイルスマート端末産業チェーンを、鴻利光電、聯創光電、KINGSOON 光電と代表とする LED 全産業チェーンを形成した。
新エネルギー自動車と新素材産業	新エネルギー車の完成車生産、パワートレイン、三電（電気駆動・電池・電気制御）核心部品、自動車モビリティサービスなど全産業チェーンを保有しており、「電動化、スマート化、ネット接続化、軽量化」の発展態勢を形成した。
スマート装備製造産業	すでにゲトラグ、ハイリ電器、オックスなどスマート装備メーカーが入居している。「産業チェーン、企業クラスター、機能集積」の先端スマート装備製造産業園区の造成に力を入れている。
医薬健康産業	現在、医薬健康類の企業は 60 社余りあり、その中に世界 500 大企業 2 社、国内 500 大企業 3 社、中央国有企業 3 社、上場企業 5 社があり、良好な産業基盤と規模効果を持っている。
航空運輸産業	航空産業発展と応用モデルプラットフォーム、現代航空サービス産業および空港ビジネスサービス産業が形成された。昌北国際空港を中心に南昌空港ニュータウン航空産業特色園区が重点的に造成される。

©2022 Jiangxi Chamber of Commerce in Japan

南昌小藍経済技術開発区

主導産業	産業案内
自動車及び部品産業	小藍経済技術開発区は、全国の重要な商用車生産基地と江西自動車部品メーカーが最も集中して完備した地域である。2021 年の産業営業収入と工業総生産額は、それぞれ 612.73 億元と 567.37 億元を達成した。
食品飲料産業	小藍経済技術開発区は、江西省食品産業基地で、独特の区域優位、良質で豊富な農業と水資源により、ここ数年の急速な発展を経て、すでに園区の基幹産業の一つとなった。2021 年の産業営業収入と工業総生産額は、それぞれ 177.29 億元と 175.34 億元を達成した。
生命健康産業	小藍経済技術開発区は、江西省生物医薬産業基地で、江西省医薬産業の 3 大トップ企業が集まっている。2021 年の産業営業収入と工業総生産額は、それぞれ 71.79 億元、70.79 億元を達成した。
スマートデバイス製造産業	小藍経済技術開発区は、江西省スマート製造基地で、スマートデバイス製造（軍民融合）産業園を建設する計画で、敷地面積が約 200 ヘクタールで、国内一流のスマート化、デジタル化先端装備基地を造成する。
半導体産業	小藍経済技術開発区は、半導体産業園を高起点で計画し、高標準で建設しているし、総規模 30 億元の集積回路専門基金である一「南芯基金」を設立して、全省初の「5G+VR」スマート園区になる予定である。

©2022 Jiangxi Chamber of Commerce in Japan

南昌ハイテク産業開発区

主導産業	産業案内
電子情報産業	南昌ハイテク産業開発区は、「南昌光バレー」の中核モデル区を造成し、LED、モバイルスマート端末機などを主な特色とする電子情報産業クラスターの育成に力を入れている。
航空製造産業	南昌ハイテク産業開発区は、革新発展を方向として、「1センター」(国内の重要な航空研究開発製造センター)、「5 基地」(国産民機革新モデル基地、航空産業軍民融合モデル基地、航空機整備取引基地、通航運営管理サービス基地、航空人材総合訓練基地)の造成に努める。
デジタル経済産業	南昌ハイテク産業開発区は、「機先」を制し、「新局」を企て、デジタル経済の発展を新成長エネルギーの育成を加速する「第 1 号プロジェクト」とすることを明確させ、「2+1+2」の産業発展方向を提示し、新経済産業園の造成に全力を尽くし、デジタル経済を経済成長の新しいエンジンにすることを積極的に推進する。
医薬健康産業	南昌ハイテク産業開発区は、全国第 2 の「国家医薬国際革新園」、「漢方薬国家革新型産業クラスターモデル園区」に許認可され、医薬産業規模は江西省の 3 分の 1 を占める。
新素材産業	南昌ハイテク産業開発区は、江西省の唯一の世界 500 大企業の江銅グループを持っており、次第に江銅、江鎢、方大、泓泰を代表とする非鉄金属仕上げ加工産業を形成し、シリコン基板、MO 源、銀ペーストなどの半導体基礎材料及び嘉捷炭化珪、長天光ファイバーなどの複合材料を形成して、新素材産業のハイエンド、フロントエンド、ディープエンドへの転換を促進する。新素材産業も南昌ハイテク産業開発区で初めて 1000 億元生産額を突破した産業クラスターである。

©2022 Jiangxi Chamber of Commerce in Japan

九江経済技術開発区

主導産業	産業案内
電子電器産業	電子電器製品は、九江経済技術開発区の 1 位の産業で、現在はすでに比較的完全な産業体系を形成した。相次いで「国家電子電器ハイテク産業化基地」、「国家対外貿易転換アップグレード基地」、「電子情報業界重点推進産業園区」、「江西省スマート家電戦略的新興産業集積区」、「江西省電子情報産業輸出基地」などの栄誉称号を獲得した。
石油化学 芳香族炭化水素産業	九江石化産業園は、総面積が 618 ヘクタールで、すでに九江石化をトップとする石化産業を形成し、九江石化 89 万トン/年芳香族炭化水素プロジェクトは 2022 年 4 月末に試運転を開始し、プロジェクトが完成した後に効果的に千億級の産業クラスターを形成して、九江及び周辺のより広い地域の配置の空白を埋めた。

©2022 Jiangxi Chamber of Commerce in Japan

九江共青城ハイテク産業開発区

主導産業	産業案内
紡織服装産業	460 社余りの企業が集まって、5 つの中国の有名な商標と 40 余りの自主ブランドを持っており、4 つの科学研究検査プラットフォームを導入した。「中国ダウンジャケット服装名城」、「国家紡織産業クラスターモデル地区」と「国家新型工業化産業モデル基地」である。

©2022 Jiangxi Chamber of Commerce in Japan

景徳鎮ハイテク産業開発区

主導産業	産業案内
航空産業	研究開発製造、部品付帯、通航運営など比較的完全な産業チェーンが形成され、現在、世界的なヘリコプター開発生産基地として崛起している。
新エネルギー産業	2021年、ハイテク産業開発区は、「一航両新」の産業発展目標の位置づけに焦点を当てて、新エネルギー産業の集積を加速して、チェーンの延べと補完に力を入れて、新エネルギー産業のクラスターを構築した。リチウム電池シリーズ製品を重点的に開発して新型リチウムイオン動力電池の陽極材料、高容量高出力動力電池などの分野で新たな突破口を開くことに努める。
新素材（先進陶磁器）産業	景徳鎮国家陶磁器文化伝承革新試験区の建設により、重点的に国家の宇宙、国防、先端装備、エネルギーと環境などの分野を取り囲んで、「標準工場建物+電気メッキセンター+ベンチャーキャピタル資金」の企業サービス戦略を構築し、先進陶磁器産業を代表とする新素材産業クラスターを形成した。

©2022 Jiangxi Chamber of Commerce in Japan

萍郷経済技術開発区

主導産業	産業案内
電子情報産業	珠江デルタ、長江デルタ地区の電子情報産業輸出を引き受け、タッチディスプレイ及びその上下流産業を重点的に発展させ、タッチディスプレイの全産業チェーンを次第に形成する。
新エネルギー産業	中南大学を顧問チームとして、高速動力、低速動力、エネルギー貯蔵及び新エネルギーセル、正負極材料などのプロジェクトを重点的に導入して、次第に新エネルギー全産業チェーンを形成する。

©2022 Jiangxi Chamber of Commerce in Japan

新余ハイテク産業開発区

主導産業	産業案内
リチウム電池 新エネルギー産業	現在、リチウム塩、正極材料、負極材料、電解液、セルと PACK、電池応用及び廃電池総合リサイクルなど比較的完全なリチウム電池産業チェーンを形成した。
スマート製造産業	全区は、すでに金属圧延、機械加工および部品、装備製造が一体化された比較的完全なスマート製造産業チェーンを形成した。
光電新素材産業	すでにガラスカバープレート、光電ガラス、タッチスクリーン、回路基板、携帯電話のベゼルとケース、電子スピーカー、リモコン、接続線、カメラ、LED 製品などを含む比較的完全な産業チェーンを形成した。
食品医薬産業	全区は、現在、食品医薬産業関連重点企業が 100 社余りある。その中で、規模以上企業 33 社、ハイテク企業 12 社である。現在、全区は、すでに比較的完全な医薬食品産業チェーンを形成した。

©2022 Jiangxi Chamber of Commerce in Japan

鷹潭ハイテク産業開発区

主導産業	産業案内
電子情報（IoT）産業	国家03特別試験基地に基づき、計画面積が11平方キロメートルのスマート・インタネット・タウンをキャリアとして、電子情報、IoT（モノのインターネット）、スマート製造、スマート端末などの産業を重点的に発展させる。
銅基新素材産業	「十位一体」銅産業体系に基づき、初の国家級銅検査センター、第一次国家たいまつ銅基新素材特色産業基地と省級銅合金材料重点工業産業クラスターの優位により、銅箔、銅線、銅板帯などの銅仕上げ加工産業を重点的に発展させる。
大健康産業	栄養健康産業の発展方向を狙って、大健康産業の発展現状と産業付帯によって、自然食品、飲料、エッセンス香料、医療などの大健康産業を重点的に発展させる。

©2022 Jiangxi Chamber of Commerce in Japan

贛州経済技術開発区

主導産業	産業案内
電子情報産業	全産業チェーンの発展構想に従い、スマート端末、新型ディスプレイ、半導体材料及び封止検査、電子部品、自動車電子などの重点領域を強く打ち出し、「チップ・液晶パネル・インテリジェント端末・IoT（モノのインターネット）・デバイス製造とロボット」の中高級電子産業体系の構築に全力を尽くす。全区に 200 社余りの電子情報企業があり、規模以上の企業が 70 社余りを集まり、産業の営業収入が 420 億元を突破した。
新エネルギー・新エネルギー自動車産業	「完成車+部品+研究開発+検査+自動車文化」の全チェーン発展構想に従い、新エネルギー完成車、動力で電池、電動機電気制御の３つの千億級産業クラスターの建設に力を入れて、全国の重要な新エネルギー自動車産業クラスター区を建設する。すでに関連企業 100 社余り、規模以上企業 44 社、完成車メーカー3 社が集まった。

©2022 Jiangxi Chamber of Commerce in Japan

龍南経済技術開発区

主導産業	産業案内
電子情報産業	「チップ・液晶パネル・デバイス製造とロボット・インテリジェント端末」などデジタル経済基盤分野を重点的に発展させ、グリーンPCB産業チェーン、リチウム電池新エネルギー産業チェーンなど細分化された分野を攻略する。
新素材産業	レアアース、金属、化学工業新素材などの細分領域を重点的に発展させ、レアアース原鉱のグリーン採掘を推進し、下に精深加工を延長し、中高級応用を広げる。

©2022 Jiangxi Chamber of Commerce in Japan

瑞金経済技術開発区

主導産業	産業案内
電子電気及び素材産業	銅基新素材と銅製品、スマート送配電及び制御設備、LED 照明及び工業制御表示、数値制御加工設備及び伝動、数値制御システム産業を重点的に導入する。
食品医薬産業	インスタント食品、冷凍乾燥特色食品、間食プレゼントなどのレジャー食品、飲料、酒などの機能飲料と薬食同源食品、運動・レジャー、保健、医療などの機器、バイオ製薬産業を重点的に導入する。
「紅色中国」文化創造製品製造産業	「紅色創造」アートデザイン、製品研究開発、ネットプロモーションプラットフォーム、ジグソーパズル、ブロック、プラスチックなどの各種構造形式の知育、科学普及玩具人形創造製品の生成、製品検査などの産業を重点的に導入する。

©2022 Jiangxi Chamber of Commerce in Japan

贛州ハイテク産業開発区

主導産業	産業案内
レアアース新素材及び応用産業	高性能磁性材料、触媒材料及びその他のレアアース機能材料、レアアース永久磁石、永久磁石変速機、永久磁石モーターなどを重点的に発展させて、中国の「磁気の都」を作る。磁材生産能力は、すでに全国市場の 3 分の 1 に達し、2025 年には産業総営業収入が 300 億を突破することが予測される。
タングステン仕上げ加工及び応用産業	超高純度、異なるサイズの顆粒タングステン粉末及び炭化タングステン粉末、超硬材料、勾配及びコーティング超硬合金、高比重タングステン基合金、精密切り刃・ドリル及び数値制御ブレード、ターゲットなどを重点的に発展させる。2025 年には産業総営業収入が 200 億を突破することが予測される。
コバルトニッケルを主とする非鉄金属産業	リン酸鉄リチウム、ニッケルコバルトマンガンリチウムなどの前駆体及び正極材料、電子銅箔、高温合金、形状記憶合金、エネルギー貯蔵及び動力リチウム電池、水素貯蔵電池、電池管理システム（BMS）などを重点的に発展させる。2025 年には産業総営業収入が 300 億を突破することが予測される。
先進スマート製造産業	永久磁石モーター、高級数値制御工作機械、ロボット、専用自動化（スマート化）装備及びその部品製造、制御ソフトウェア開発、スマートシステム集積、工業インターネット融合などを重点的に発展させる。2025 年には産業総営業収入が 200 億を突破することが予測される。

©2022 Jiangxi Chamber of Commerce in Japan

宜春経済技術開発区

主導産業	産業案内
リチウム電池新エネルギー新素材産業	「炭酸リチウムから抽出-電池材料の生産-リチウム電池の製造-新エネルギー自動車の生産」の全産業チェーンを形成して、寧徳時代、国軒ハイテク、合衆自動車、清陶エネルギーなどの産業トップ企業がすでに着地した。
先端装備製造産業	現在、生産を開始した企業は 50 社余りで、生産経営分野は建設機械、特殊電気機械、自動車・オートバイ・部品、油圧機械及び電子電器などの業界に関連している。
電子情報産業	現在、創維電子、碧彩電子などのトップ企業と六和電子、三龍電器、大有科技などの中堅企業があり、トップ企業の牽引、専門化付帯部品企業の同期発展の構造を形成した。
バイオ医薬産業	原料薬、漢方製剤・西洋医学製剤、バイオ医薬、保健品、薬用包装材料、医療機器の生産と販売を一体化した比較的完全な産業チェーンを基本的に形成した。

©2022 Jiangxi Chamber of Commerce in Japan

宜春豊城ハイテク産業開発区

主導産業	産業案内
新エネルギー新素材産業	新エネルギー新素材は、新型建材、再生金属分野に重点を置き、セラミック機械加工、セラミック化学工業とセラミック包装を一体化した産業クラスターを形成して、再生銅、再生アルミニウム回収及び仕上げ加工の完全な再生金属産業体系が集まった。
先端装備製造業	電子情報およびエネルギー装備分野に重点を置き、フォルシア、新海洋など世界 500 大企業をはじめとする 70 社あまりの機械・電子企業が集まった。
生命健康産業	バイオ食品、医療機器の発展に重点を置き、KEBANG、春光股份、豊臨医療などを代表とする 20 社余りの企業が集まり、産業は医療用ラテックス、低侵襲介入、輸液消耗品、薬品包装などを含む。
現代ホーム産業	浙江、広東及び南昌、赣州南康などの家具産業の移転を契機に、現代スマートホーム産業園の建設を加速化し、中部地区の高級ホーム生産販売ハブの建設に全力を尽くす。
スマート教育装備産業	「深圳研究開発、南昌加速、豊城着地」の「三地連動」の企業誘致モデルに基づき、大湾区の産業移転を積極的に受け入れ、教育装備産業プロジェクトを集中的に誘致し、産業集積区を建設し、設計研究開発、生産製造、展示取引、応用訓練、研究開発実践を一体化したスマート教育装備産業チェーンを形成した。

©2022 Jiangxi Chamber of Commerce in Japan

上饒経済技術開発区

主導産業	産業案内
太陽光発電産業	現在、太陽光発電企業が 23 社あり、晶科エネルギー、彩虹ガラス、HIUV フィルムなどの全世界の太陽光発電トップ企業を集まり、シリコンウェハーから電池、フィルム、ガラス、モジュールまでの完全な産業チェーンを形成した。
光学産業	現在、300 社余りの光学企業があり、光学冷間加工全産業チェーンを形成したが、年間 10 億枚以上のレンズを加工し、全国生産量の 65%を、全世界生産量の 50%を占める。
自動車産業	現在、自動車メーカー80 社余りがあり、長城、吉利など完成車やエンジン、電池など 70 社余りの部品付帯会社と自動車総合試験場 1 ヵ所を保有している。

©2022 Jiangxi Chamber of Commerce in Japan

井岡山経済技術開発区

主導産業	産業案内
電子情報 （最優先産業）	「チップ・光・液晶パネル・電子回路基板・サプライチェーン・スマート・IoT（モノのインターネット）」の全チェーン式発展構想で、スマート産業端末とLED照明の二大産業に焦点を当てて、年間生産額が約500億元である。
先進装備製造産業	自動車部品、自動化、精密構造物などを中心に細分化された産業が形成され、米田科技、瑞鵬飛、スミダなど国内外の有名企業50社余りが集まった。
先進素材産業	シリコ、冠徳新素材とUTLなどをトップに、新型離型フィルム、高分子プラスチックフィルム、極細糸不織布などの分野を含んだ。
バイオ医薬産業	全国漢方医薬100大企業である普正薬業をトップに、150社余りの企業が集まって、漢方製剤、バイオ製品、健康食品などの分野を重点的に発展させた。

©2022 Jiangxi Chamber of Commerce in Japan

吉安ハイテク産業開発区

主導産業	産業案内
電子情報	最優先産業として、スマート端末、デジタル視聴覚、LED 光源電子などの産業クラスターと完全な産業チェーンを形成した。
スマート製造	専攻産業として、主な製品は金型製造、治工具、切り刃、モーター、工業用ロボット、中高級数値制御工作機械、自動化生産ラインなどであり、産学研用を結合した技術革新研究開発体系を初歩的に確立した。
大健康食品	優位産業として、燕京ビール、ワハハ、奕方科術などのトップ企業が集まり、優位資源の産業化、集積化、ブランド化の発展構造を達成した。
新エネルギー新素材	新興産業として、磁性高エネルギー貯蔵材料を生産する鑫泰科技、リチウムポリマー電池を生産する力莱新エネルギー、太陽光発電設備を生産するイーゴリ電気、組み立て式建築トップの遠大グループなどの良質の企業が集まった。

©2022 Jiangxi Chamber of Commerce in Japan

撫州ハイテク産業開発区

主導産業	産業案内
自動車及び部品	一つの完成車、二つの改造車及び一連の自動車部品の産業構造を形成した。代表企業:比亜迪自動車、比亜迪電池、江鈴シャーシ。
次世代情報技術	産業は、主に第三世代化合物半導体、消費電子製品、サーバー及びビッグデータ保存などの製品及びサービスをめぐって展開した。代表企業:誉鴻錦科技、迪比科、聯創恒泰、浪潮科技。
バイオ医薬	血漿製品と眼健康製品などのバイオ医薬製品を代表とする。代表企業:博雅生物、珍視明。
非鉄金属仕上げ加工	産業は、主にステンレス製錬及び製品、銅の粗深加工を中心に展開した。代表企業:金品銅科、銅博科技、海利ステンレス。

©2022 Jiangxi Chamber of Commerce in Japan